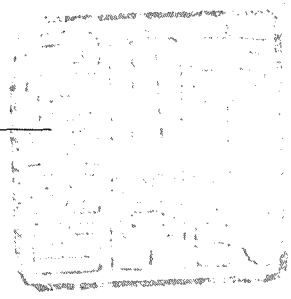


哲學研究

第三十八卷 第二冊

第四百三十六號

昭和三十年十月二十日發行



知覺の様式と表現の様式……………ヴァーシル・C・
オールドリツテ

聖トマスに於ける esse と
existere について（承前）……………山田 晶

彙報

新着外國雜誌所載論文一覽

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を図ることを目的とする

一、右の目的のために次の事業を行う

(一) 毎月一回研究會を開く

(二) 毎年公開講演會を開く

(三) 毎月一回「哲學研究」を發行する

一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する

一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる

一、會員は會費として年一、〇二〇圓、又は半年五一〇圓を前納する

一、會員は會誌の配布を受け、會誌に預告する諸種の行事に出席することができる

一、本會は事務所を京都大學文學部内におく

一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎	池田義祐	石田仁	井島勉	上野照夫	臼井二尙	酒井修	重澤俊郎	島芳夫	園原太郎	高田三郎	武内義範	田中美知太郎	長尾雅人	西谷啓治	野田又夫	松尾義海	三宅剛一	矢田部達郎
-------	------	-----	-----	------	------	-----	------	-----	------	------	------	--------	------	------	------	------	------	-------

京都哲學會公開講演會

時 十一月十二日(土) 午後一時半

處 京都大學文學部第一教室

宗教的實存……………京都大學教授 西 谷 啓 治

Philosophy and Language ……………米國オハイオ州
ケニヨン大學教授 ヴァーヂル・C・
オールドリツチ

(譯) 京都大學教授 野 田 又 夫

☆右終了後樂友會館にて懇談晚餐會を開きます、多數御參會下さい(會費五〇〇圓)

☆所屬機關長宛出張許可依頼狀入用の方は京大文學部美學研究室まで御申出下さい

どもまた *esse in anima* の意味にも用いられて居ること。subsistere の意味にも用いられて居るけれどもまた *esse in alio* の意味にも用いられて居ることを明にした。要するに *existere* はトマスに於ては、シュッツが解したよりもはるかに広い意味に用いられて居ることが知られたのである。この事實は、シュッツの辭典の説明の或部分の訂正と増補とを要求するとともに、シュッツがかかる説明の根據とした、トマスに於ける *existere* と *essentia* との關係は *esse* と *essentia* との關係と同一である、というスコラ哲學の傳統的見解そのものに對して根本的批判を迫るものではなかつたか。

以上我々は、トマスの *existere* の意味をもとめてまづシュッツの説を批判し、その過程に於てトマスの *existere* について相當多くのことを知り得たのである。然しながら我々はこゝにとゞまることができない。次に我々は同じ方法を用いてデフエラリの辭典の説明をきき、それをトマス自身の本文にもとづいて批判吟味するという仕事にとりかゝらなければならぬ。

(未完)

〔本論文前號所載分の正誤表〕

頁	行	誤	正
五	終より五行目	第四章に於て	第四章以下に於て
九	始より十行目	本論文(一)の参照	註(一)の参照
二八	終より三行目	……の註釋に	……の註釋に於いて
〃	終より一行目	一	一 Cant. c. 22

前 號 目 次

聖トマスに於ける <i>esse</i> と <i>existere</i> に關して……………	山 田 品
自然的秩序と目的論的秩序……………	山 中 真 知
——カント目的論の構造と批判——	
INTELLECTUAL HISTORY の範圍と方法について……………	中 村 正 雄

新刊外國雜誌所載論文

(筆者 大阪市立大學文學部〔哲學〕助教授)

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費（年一、〇二〇圓又は半年五一〇圓）をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい、一年分（又は半年分）會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會等（納集事務以外的一切）の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の網集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛に御送り下さい

京都哲學會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十年十月十五日印刷
昭和三十年十月二十日發行

網集人

京都哲學會
京都大學文學部内

右代表者

發行人

酒井 八坂淺太郎 修

印刷人

伊藤 藤久 春
京都市田中西浦町四〇

印刷所

弘文堂印刷所
京都市田中西浦町四〇

發行所

株式會社

弘文堂

東京都千代田神田區河原町四ノ四

註文規定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共（一部、定價一〇〇圓・郵稅八圓）前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVIII

October, 1955

No. 2

Modes of Perception and Expression Virgil C. Aldrich

On esse and existere in

St. Thomas Aquinas (II) Akira Yamada

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan